令和８年度　長崎市立土井首小学校　学力向上プラン

学校目標　なりたい自分になる！やりたいことをやる！

めざす児童像

○ 自分で考え、行動する子　　○ よさを認め、学び合う子　　○　失敗を恐れず、チャレンジする子

確かな学力において目指す児童の姿

児童一人一人が主体的に学ぶことを通して面白さや達成感を見いだし、「学ぶことは楽しい」と実感できるようになる。
〈全国学力状況調査　国語科…7.8→9.0　　算数科…7.8→10.0〉

授業改善（校内研究）

研究主題
「学ぶ」ことを「楽しい」と思える子どもの育成
～一人一人が『わかった・できた』を実感し、学び合いの中で深める授業づくりを通して～

《本研究における「楽しい」とは》
①できた・わかった（理解・習熟）
②深まった・新しい考えに出合えた（深まり・変容）

○「学ぶことは楽しい」を実感させるための取組
・低・中・高・支援学級の各部会において、本研究で捉える２つの「楽しい」を実現するための具体的な取組を検討し、実践する。
・各部会での取組の成果や課題を検証するため、４部会からそれぞれ１本ずつ公開授業を行う。公開授業に向けて、事前授業や指導案検討を行い、授業後は全員で参観及び研究協議を行う。
・授業づくりにおいては、「長崎県授業改善メソッド」及び「学びの習慣化メソッド」に基づいて実践を進める。

支持的風土のある学習環境

○学習規律の徹底
・あいさつ指導　　・机上の準備　　・板書の構造化
・ノート指導　　・ふり返り活動
・静かさをつくる
○児童同士の関わりの充実
・言葉遣いの指導　・学び合い活動
○集団活動における自己有用感の醸成
・自分の役割への責任感
・みんなと一緒にやり遂げる達成感
・認め合い・励まし合い

特別支援教育の充実

○児童の困り感に対応する支援の実践
○SC・SSW及び関係機関と連携した相談体制
○ユニバーサルデザインを取り入れた環境づくり

学びに向かうための習慣

○学びの土台づくり
・キュビナなどを活用した復習（スキルアップタイム）
・読書の充実・時間の確保
○家庭学習の定着
・家庭学習強化週間の設定
・自主学習の奨励

		国語	算数
１年	課題	他者の意見にしっかり耳を傾けて聞く姿勢が乏しい。自分が発言したいことが優先してしまう。	様々な意見を活用しながら、自分なりの考えをまとめていくまでにはなかなか至らない。
	取組	発言する人の方を向き、言っていることにしっかり耳を傾けるようにする。	意見には多くの内容が含まれていることを理解させ、自らの考えに必要な事項をまとめていく力を育成していく。
２年	課題	相手の話を最後まで聞き、内容を理解しようとする姿勢に課題がある。	問題文から必要な情報を読み取り、立式する力に課題がある。
	取組	「今は聞く時」を意識させ、教師や友達の話を最後まで聞いてから、自分の考えを発表する習慣を身に付けさせる。	立式の手掛かりとなる言葉に印を付ける活動を通して、問題文から大切な言葉を見つける習慣を身に付けさせる。
３年	課題	伝えたいことを明確にして内容のまとまりがわかるように文章を書くことが苦手である。	文章問題で必要である情報や数値の関連を読み取って立式することが難しい。
	取組	各教科において自分の考えや振り返りを書く活動を継続して指導する。	問題をよく読み、大事な数字や聞かれていることに着目して、図と関連させながら題意を捉えさせる。
４年	課題	条件に合わせて、文章を書くことを苦手としている。	文章問題の理解や立式の根拠を書くことに課題がある。
	取組	時々は、条件作文を書くことを宿題や授業の中に取り入れ、指導していく。	文章問題を理解しやすいように絵や図の提示や立式の根拠を述べる活動を多く取り組んでいく。
５年	課題	話す聞くに課題が見られる。音声による指示にも弱く、理解ができないことが多い。	思考力・判断力・表現力を問う問題において、必要な情報を読み取り、立式や説明をする力に課題がある。
	取組	スキルアップタイムを活用し、聞くテストに似た問題に取り組み、聞いて考える練習をする。	問題文の重要な言葉や数値に印を付けさせ、図や式と関連付けて考えを整理しながら、根拠を明確に説明する力を身に付けさせる。
６年	課題	問われている内容に対して、正確に文章で表現することに課題がある。	問題の読み取りや場面のイメージができない。
	取組	授業の中で、自分の考えを文章で表す時間をつくる。	授業の終末やスキルアップタイムなどで、様々な形態の問題に取り組ませる。